

理事会資料

2023年3月15日

中央大学アメリカンフットボール部OG・OB会

議題

- ①2023年度 運営体制について（報告）
- ②今後の組織体制等について
- ③予算及び会費納入状況について
- ④会費免除等の件について
- ⑤審判員拡充について
- ⑥名誉会員推薦の件
- ⑦その他報告等事項

①2023年度 運営体制について

<チーム関係>

部長：橋本 基弘

H C：須永 恭通

G M：蓬田 和平

※中央ラケーンズアスリートクラブ代表理事

監督：杉江 範之（新任）

社員代表：梶川 史朗（新任）

学生連盟：平石 隆（新任）

<OG・OB会>

会長：山本 陽二

副会長：伊吹 信一郎

副会長：宅間 誠

副会長：常盤 真也

副会長：杉江 範之（兼務）

会計：山田 陽一

<審判員>

田口 眞行

中山 徹也

上野 慶州

新開 聡史

※退任：副部長：村井 剛

コーチ：遠藤 隆太、櫻井 義孝

学生連盟：森永 洋一

②今後の組織体制等について

現状（問題意識）

- ✓ ラクーンズ支援の主体はOG・OBが基本であるが、組織体としての貢献度合いが低下気味である
- ✓ 組織や人の役割が有機的に連動していないこと等から、効果的な活動が十分にできていない

＜現支援組織体＞

- 一般社団法人中央ラクーンズアスリートクラブ
- OG・OB会
- 後援会、CSC

目指す姿

- ✓ あらためて組織や人の役割を整理しそのうえで各々の役割が明確になっている
- ✓ 「学生日本一」になることを目標に、求心力のある自立した組織運営体制の再構築が早期にできている

- より良い組織の再編へ

組織運営方針

競技成績で「日本一」を
勝ち取るための支援体制

- ✓ 安定したコーチング体制の確立
- ✓ 選手やスタッフのリクルーティング
- ✓ 練習施設や生活環境等支援 等

持続的な発展のため
経済的にも自立できる体制

- ✓ 大学に依存しない組織運営
- ✓ スポンサーシップの獲得
- ✓ ディスクローズされた収支管理 等

会員相互の親睦を深め
母校の発展に寄与

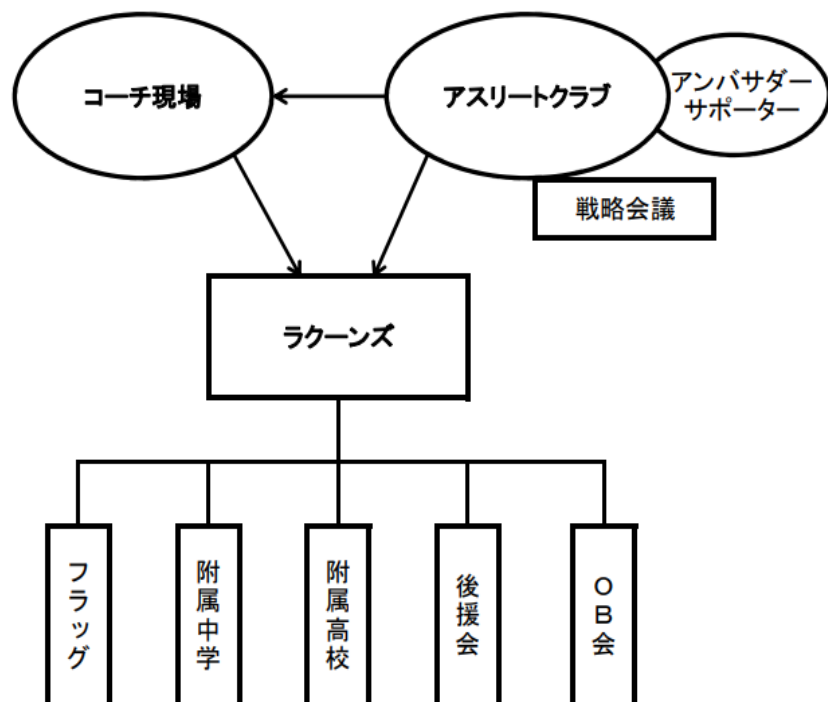
- ✓ 会員間の交流
- ✓ 広報・ブランディング
- ✓ 大学への貢献
- ✓ 学員会の支部登録 等

- ✓ 運営会議を新設して各種検討
- ✓ メンバーはOG・OB会 会長・副会長、アスリートクラブ代表理事とする
- ✓ 2023年度を検討期間として、2024年度からスタートを目指す

組織編成（案）

現状

【組織図】



編成（案）

中央大学

- ✓ 部長
- ✓ 副部長

ラクーンズ

- ✓ ゼネラルマネージャー
- ✓ 監督
- ✓ ヘッドコーチ
- ✓ コーチ
- ✓ 社員代表
- ✓ 連盟理事

(社)中央ラクーンズ アスリートクラブ

- ✓ 総合支援組織
- ✓ メンバー：代表理事・理事・監査役

戦略室

- ✓ チーム強化全般
- ✓ 指導者選定
- ✓ リクルーティング
- ✓ チーム支援全般

広報室

- ✓ コミュニケーション
- ✓ SNS/HP運営
- ✓ ブランディング
- ✓ ロゴ・グッズ

事務局

- ✓ 会員管理
- ✓ 会費・予算管理
- ✓ 会議体運営
- ✓ 規約管理
- ✓ その他全般

会員（種別毎）

- ✓ OG・OB（学員支部会員）
- ✓ 後援会・CSC
- ✓ スポンサー
- ✓ 一般ファン 等

③予算及び会費納入状況について

2022年度

2023.2.1現在

<概算収支>

会 費
寄付金

6,665千円

主な支出

チーム支援:5,500千円
審判員手当:800千円
慶弔費:200千円
振込手数料:100千円
HP運営費:100千円
その他経費・予備費

<納入率>

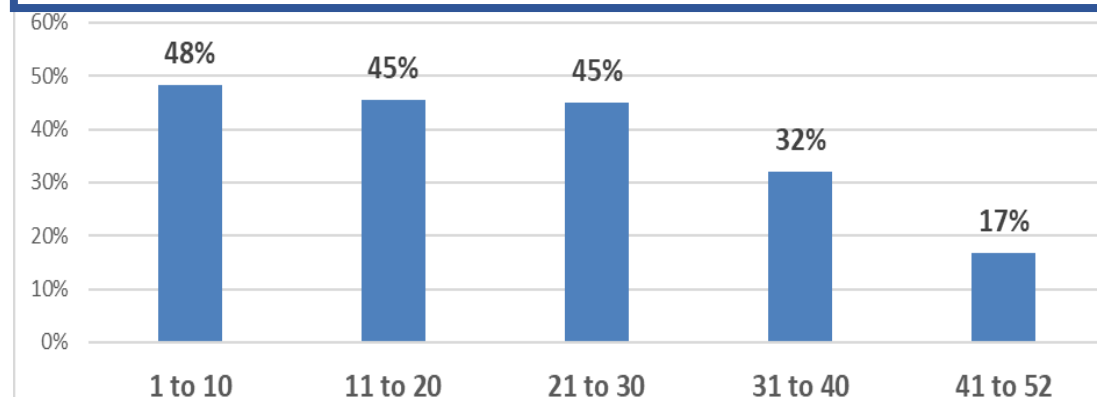
1期～52期

299名

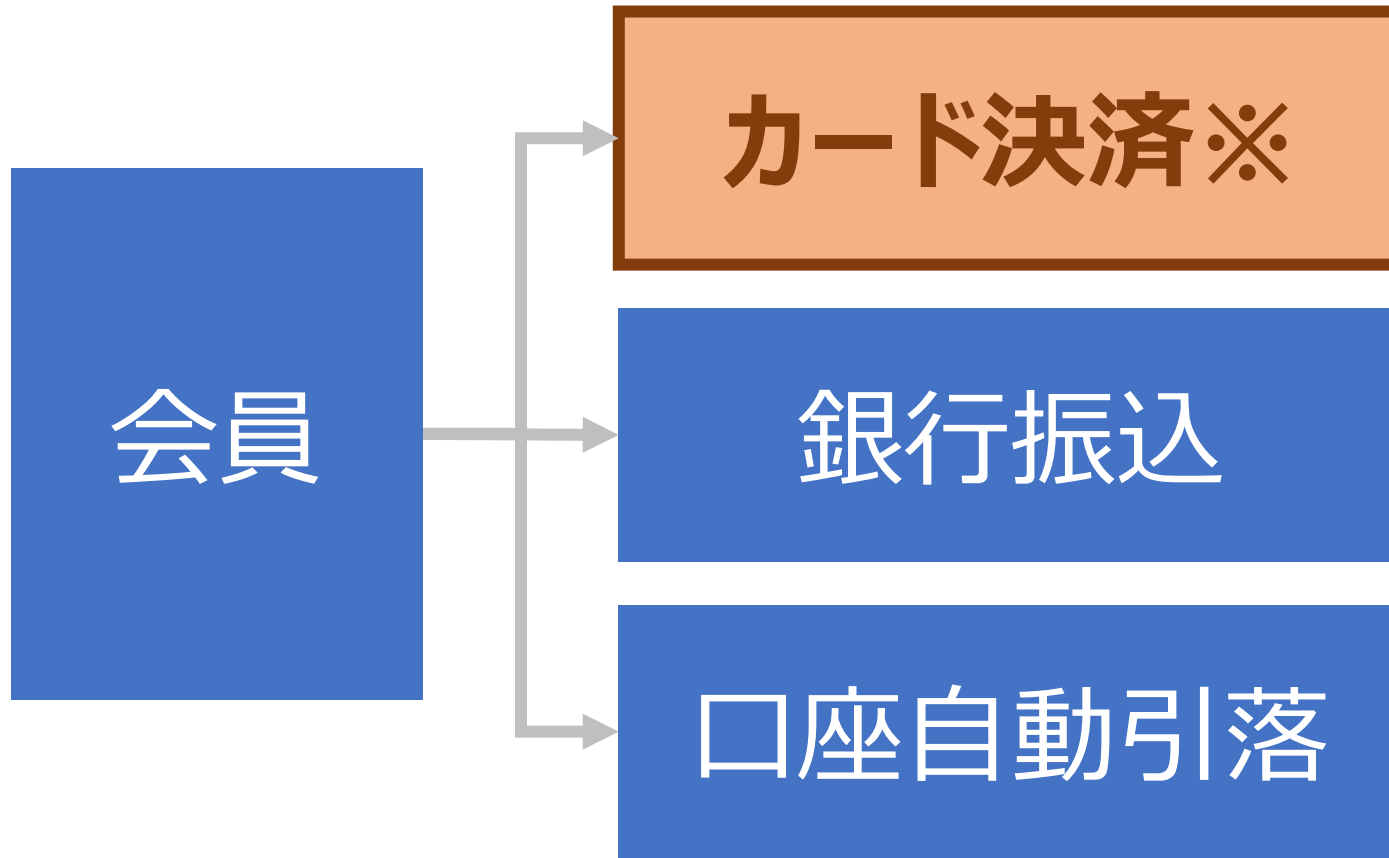
894名

33.4%

期別納入率



会費回収の一部変更について



※現決済会社サービス終了に伴うもの
あらためて対象者に対して、登録変更依頼のご連絡を致します

(参考)
新決済会社：(株) ROBOT PAYMENT

④会費免除等の件について

(背景)

- ・基本的にOG・OB会活動はボランティアが前提である
- ・一方でコーチや審判員に関しては、一定の手当を支給している
- ・昨年理事会において、それ以外の活動（社員代表及び学連理事）にも何らかの措置（会費免除等）をして欲しいとの要望がだされた

(対応案)

- ・会費納付は、正会員において必須事項であることを鑑みて、免除ではなく、**会費相当額を手当として支給**する
- ・会費定年の導入（65歳を迎える年度まで、それ以降は任意による寄付）

⑤審判員拡充について

登録ルール

義務
3名以上

義務化要件
1部リーグ・
加盟21年以上

計時専門は0.5人
で2名を上限

年齢等

義務化対象は
65歳まで

初年度登録は
48歳以下

女性も登録可

不履行の場合

顛末書と次年度登録
稼働宣誓書の提出

次年度履行できない場合
最下位扱いとし自動降格

5年間に2回以上該当
2回目年度のポストシー
ズンへのゲーム出場不可
等の措置有

現状と対応

義務化対象
3名
うち1名は中大OB

自薦・他薦・指名に
よる継続募集

審判手当を支給
20万円／年

⑥名誉会員推薦の件

中央大学アメリカンフットボール部OG・OB会規約（抜粋）

第2条 会員は次の3種とする

- ①、正会員
- ②、名誉会員
- ③、特別会員

第4条 名誉会員及び特別会員は中央大学アメリカンフットボール部においてその向上発展の為に尽くした個人または法人とする。

2、名誉会員及び特別会員の本会における地位は、本会の健全・円滑な運営のための助言者又は協力者である。

3、名誉会員は、正会員によって推薦され、OG・OB総会において出席者の3分の2以上の賛成により票決されたときにその資格を得るものとする

仁木 高樹 氏（3期 1947年生）

主な経歴

【チーム】通算30年間

1975年～1977年 コーチ

1978年～1984年 監督

1999年～2000年 総監督

2001年～2017年 監督

2018年 総監督

【OB会】通算36年間

1978年～1984年 会長

1988年～2016年 会長

【中央RAC】通算3年間

2017年～2019年 代表理事

⑦報告等事項

- ✓ 各種連絡方法について
 - 基本はラunks通信及びHPにて周知
 - 統括理事によるフォロー
 - 携帯番号によるSMSからHPへの誘導
 - 個別には、LINEやFacebook等のSNSでカバー
- ✓ 会費納入率向上へのご協力について
 - 同期や同世代のコミュニケーション
- ✓ 学員支部設置について
 - 2024年度加入を予定

参考資料

R-NEXT50の推進 2014～2016シーズン



中央大学アメリカンフットボール部 50 周年に向けた活動強化施策
「R-NEXT50」に関する方向性のご支援のお願い

R-NEXT50

Raccoons the **Next** challenge for **50th** anniversary



拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素よりラークンズの運営にご支援ご協力を賜り誠に有り難うございます。
さて、既知事実かと存じますが、関東大学アメリカンフットボール連盟では、2014 シーズンから

- ・2013 シーズン結果：1 位～8 位：TOP8（トップエイト）
- ・2013 シーズン結果：9 位～16 位：BIG8（ビッグエイト）

といった 1 部リーグが上下に分かれるリーグ編成で試合が行われることが決定しております。
中央大学アメリカンフットボール部ラークンズは 7 位からのスタートとなります。

ここで、トップ 8 の大学の環境を次ページに列挙いたします。

R-NEXT 50

Raccoons the **Next** challenge for **50th** anniversary

プロジェクトコンセプト

50 周年を節目に ALL RACCOONS の力で「学生界 TOP」という次なるステージを目指します。
また、学校や特定の個人に依存せず、組織力を発揮して継続的に発展する体制をつくります。
新旧 OB が一丸となること、また附属中学、附属高校を含めたオールラークンズを対象にします。

宣言

中央大学アメリカンフットボール部ラークンズは 2016 年に 50 周年を迎えるにあたり、下記 3 つのポイントで、NEXT ステップである「日本一」を目指し、中央大学の新しいシンボルとなるべく価値の高い継続的なチームづくりを行ってまいります。

競技成績で「日本一」を勝ち取る

▶ 安定したコーチング体制の確立：一流選手のリクルーティング：アスリートの開発と人材育成 他

経済的に自立し、100 周年に向けて継続的に発展する

▶ 学校に依存しない継続可能な組織運営：企業的外資管理：スポンサーシップの獲得 他

学内・地域へ貢献し、影響を与えていく存在となる

▶ 地域と連携したスポーツ振興：中大ブランドの向上：フットボールの普及 他

2014 年のキーとなる戦略的アクション

専任コーチ兼 GM を配置しプロジェクト執行部を組織する

- ・専任のフルタイムコーチとして、ヘッドコーチに 27 團丘子達郎氏を招聘します。
- 10 シーズンもの間、熱き指導によりご尽力いただきました。26 期常務理事ヘッドコーチが勇退となりました。

短期的な資金バックアップ体制の構築

- ・「アンバサダー」より支援金を募り、最初の 3 年間で重点ターゲットに資金体制をつくる。
- ・2014 シーズン～2016 シーズンまで、寄付金を募りその間に各種事業収益体制を構築。

ALL RACCOONS 視点での具体的取り組みを開始する

- ・本活動をきっかけに、OB/後援会/RSC など各組織に支えられない ALL RACCOONS 体制を作る。
- ・専任コーチは、中学/高校のコーチを兼任し、育成とリクルーティングを両立させる。

NPO・一般社団等の法人設立と事業運営

- ・非営利法人格を取得し、全ての活動の母体とする。（フットボール部運営等地域に根差した活動含む）
- ・法人設立により、持続性と透明性を担保し、後援や対外的な信用力も醸成していく。
- ・将来的な目標は事業収入を得ることによる職員＝フルタイムコーチ体制を目指す。
- ・集約の前提：ユニバースジムに隣接した部屋を賃貸契約の予定（月間 7 万）
- 選手向け栄養補給を行う小食堂ならびにコーチルームとしての機能を付与した施設